

ネットいじめを目撃した大学生の個人特性と傍観及び援助行動の関係

— Instagram のストーリーズを使用したいじめ場面を想定して —

○山本 陽菜・五百竹 亮丞
(広島文教大学 人間科学部)

問題

ネットいじめに関する研究では、人がいじめを認知しても関与しない傍観行動とその先行要因に関心が寄せられてきた。例えば、集団から目立つことを忌避する被異質視不安特性は傍観を促進し(高坂, 2010), 対人関係を円滑にする社会スキルは傍観を抑制して援助行動を促すとされている(藤野・長沼, 2013)。

しかし、社会的スキルといじめを認知した後の行動の関係には議論の余地がある。高い社会的スキルを持つ人が保身を優先するときには、傍観が選択される可能性があるからである。特に、上述した被異質視不安と社会的スキルがともに高い場合は、集団から浮くことを忌避した結果、傍観がより動機づけられるかもしれない。そこで本研究では、大学生を対象にネットいじめの場面を想定した調査を行い、傍観・援助行動に個人特性が与える影響を検討する。なおネットいじめに使用される SNS は、新しいいじめ手段(読売新聞, 2023)として問題視されている Instagram のストーリーズ機能を想定した。

方法

手続き 2024年7月にクラウドワークスで「大学生対象の対人トラブルに関するアンケート」と銘打ち、調査協力者を募集した。得られたデータのうち、全く同じ回答パターンを示した bot と疑われる回答 86 件を削除した 114 名分(男性 47 名、女性 65 名、無回答 2 名、平均年齢 22.3(SD=2.52)歳)を分析対象とした。

アンケートの構成 調査協力者は、はじめに性別、年齢、社会的スキルを測る Kiss-18(菊池, 2014)の 18 項目及び友人から異質に見られることへの不安を測定する被異質視不安尺度(高坂, 2010) 11 項目に回答した。その後、Instagram のストーリーズ機能で同じ学科の友人 A・B が友人 C を友人グループから排斥しようとしている刺激画像を提示した。その後、いじめを目撃した後の行動(傍観・被害者支援・加害者介入)を測定する尺度 13 項目(藤野・長沼, 2013)に回答した。なお、質問項目はいずれも 5 件法であった。

結果

尺度得点の算出 社会的スキルは Kiss-18 の使用方法に従い全項目を合計して算出した。被異質視不安特性得点と傍観・被害者支援・加害者介入の各得点は、平均値から算出した。そして各得点

の α 係数を算出したところ、いずれも十分な内的整合性が確認された (Table)。

個人特性と傍観・援助行動の関係 傍観・被害者支援・加害者介入を目的変数、性別・年齢・社会的スキル・被異質視不安特性・社会的スキル×被異質視不安の交互作用を説明変数にした重回帰分析を行った。その結果、いずれの行動にも有意な決定係数が認められた。さらに社会的スキルと被異質視不安の交互作用は傍観において正の影響が認められた。社会的スキルは被害者支援と加害者介入に正の影響、被異質視不安は被害者支援に正の影響が示された。加えて加害者介入には性別の影響もあることがわかった (Table)。

そして傍観に有意な影響を与えていた社会的スキル×被異質視不安の交互作用を検討するため単純斜傾の検定を行った。被異質視不安について平均値から $\pm 1SD$ を基準とし、社会的スキルの関係を検討したところ、被異質視不安が高い場合はいずれの説明変数も傍観に有意に影響していなかったのに対し、被異質視不安が低い場合は傍観に対して社会的スキルが有意に負の影響を与えていた ($b=-.03$. $p=.02$, 95%CI[-.05,-.01])。この結果は、被異質視不安が弱い場合に限り、社会的スキルが傍観を抑制することを示している。

考察

Instagram のストーリーズを用いたいじめを想定した本研究では、LINE、Facebook を使用したいじめを想定した先行研究と同様の行動傾向が示された。この結果は、ネットいじめを目撃したときの行動選択は、SNS の機能に左右されないことを示唆している。

また、社会的スキルが傍観を抑制するのは被異質視不安が弱い場合に限られることがわかった。いじめが発生したとき、社会的スキルが向社会的行動を促進するのは個人属性など条件があると考えられる。今後、ネットいじめにおける傍観者の問題を解決するためには、パーソナリティなどの条件を勘案した対策が必要になるだろう。

引用文献

藤野京子・長沼祐介 (2013). いじめ場面における第三者に対して状況要因と個人要因が及ぼす影響について. 犯罪心理学研究, 50(1), 1-13.

Table 重回帰分析の結果

	傍観 ($\alpha=.78$)	95%CI	被害者支援 ($\alpha=.83$)	95%CI	加害者介入 ($\alpha=.85$)	95%CI
sex (男性 0, 女性 1)	.16	-.05 .37	-.18	-.39 .02	-.31**	-.51 -.12
age	-.02	-.22 .17	.13	-.06 .33	.01	-.17 .19
社会的スキル($\alpha=.91$)	-.17	-.39 .05	.32**	.10 .54	.35**	.15 .56
被異質視不安($\alpha=.92$)	.15	-.06 .35	.27*	.06 .47	.06	-.14 .25
社会的スキル× 被異質視不安	.28*	.07 .50	-.21	-.42 .01	-.15	-.35 .05
R^2		.18*		.19**		.29**

** $p < .01$, * $p < .05$